

「先進校視察からの学び」

平成28年6月17日（金）、次の視点を全体共有して先進校視察を行い、有意義な研修を行うことができました。

◎視察の重点

「自学力」の育成に向け、この授業で、「どのような力を育てたいのか（何ができるようにさせたいのか）」という指導目標（ねらい）を明確にし、そのために、どのような工夫（指導内容・方法）をしているのか。



◎各部会の重点

【学力向上部会】

・課題解決型の授業づくり

- ① 課題発見一問いのもたせ方
- ② 集団解決一語らせるための発問・手立て
- ③ 集団解決の終末で、焦点化し価値づけるための手法
- ④ 振り返りのさせ方

【生徒指導部】

- ① 生徒指導の三機能を生かした授業づくり（自己決定の場・自己存在感・共感的人間関係づくり）
- ② 礼節（挨拶・返事・履物揃え等）

(香川大学附属坂出小学校の授業から)

坂出小学校の授業で印象に残ったことは、2年生の生活科での児童の学習意欲（～がしたい）、「主体的な学び」を意識した6年生の算数科の授業でした。特に6年生の授業では、「学習者基点の学び」「深い学び」の面で、モデルとなる授業でした。

「学習者基点の学び」とは？

○児童生徒の知的好奇心を高めるために、児童生徒の経験や既有知識を踏まえ、児童生徒の思いや願い、考えなどを大切にしながら、教科等の目標を達成させるために必要な学習内容や効果的な指導方法を取り入れ、学習活動を組み立てていくこと。

「主体的な学び」

受動的な学び
教師基点の学び
浅い学び



能動的な学び
学習者基点の学び
深い学び

「深い学び」とは？

○教師から学習者に向けて一方的に授けられただけの知識は長く脳裏に留まらない。このような知識を享受するだけの学びは「浅い学び」と言われる。これに対して、学んだ知識をつなげて新たな知識を生み出したり、新たな学びを展開する学びを「深い学び」と言う。



※一つの授業モデルとして、別紙のとおり授業展開をまとめたので、参考にしてみてください。

(香川大学附属坂出中学校の研究から)

平成27年8月に出された中教審教育課程企画特別部会における「論点整理」において、アクティブ・ラーニングについて授業改善の3つの視点が示されています。それは、「プロセス」「インタラクション (相互作用)」「リフレクション (振り返り)」で、この3つの視点で授業改善を行うことが重要とされています。坂出中学校の4層カリキュラムから構成される「ものがたり」づくりは、まさに「習得・活用・探究」という学習「プロセス」の中で、課題発見・解決学習を念頭においた「学習者基点の学び」「深い学び」の実現をめざしているものだと分かりました。また、「個が響き合う共同体をめざして」の副題にあるように、「インタラクション (相互作用)」を行う中で、知識をつなげて新たな学びを展開する学びを促進していこうとされていることがよく分かりました。この研究方法は、カリキュラムマネジメントのモデルとして、とても参考になるものでした。



*参考になった具体的取組等 (中学校視察レポートより)

- ①課題解決を行う際の課題設定の仕方。生徒の知的好奇心をかきたてるような日常生活に密着した課題を提示すること。
- ②個の考えだけでなく、仲間と考えを共有しながら課題を解決していく協同的な学習の導入。個の自分の考えを分かりやすく聴き手に語らせ、互いに意見交流することで、学びが繋がっていること。
- ③活動ごとの十分な学習時間の確保。個人思考や集団での思考、振り返りの時間を十分に持たせること。
- ④授業の1時間の中で、自己決定の場、自己存在感、共感的人間関係が育まれる生徒指導の三機能の視点にたった授業づくり。

学んだことを、今後、どのように自己・自校の実践に生かしていくかが重要です。ここをしっかりと校内でも論議していきましょう。

また、今回の先進校視察では、多くの先生方のご協力のもとに有意義な研修を行うことができました。誠にありがとうございました。

7月14日(木)八幡小学校での合同研修会、8月9日(火)吉舎中学校での合同研修会に、今回の視察で学んだことを生かし、つなげていきましょう。

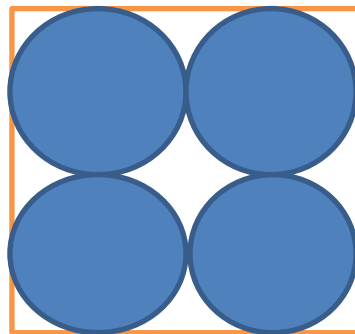
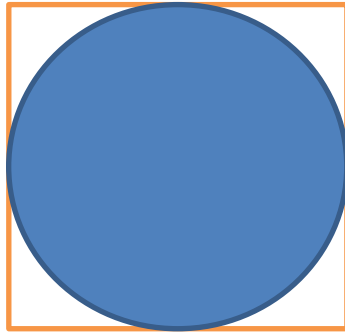


(学習者基点の学び)

- ・児童生徒の知的好奇心を高めている課題設定である
- ・児童生徒の経験や既有知識を踏まえ、教科等の目標を達成させるために必要な学習内容や効果的な指導方法を取り入れ、学習活動を組み立てている

学習課題 どちらのクッキーがむだなく作れるだろうか
 <提示> (A) (B)

提示
 ○比較対象
 をして考え
 させる。
 ○何を学習
 するのが
 明確



見通しを持
 たせる

順序よく考え方を説明

- ① 見た目、どちらのクッキーがむだなくつくれそうか？
 ・生地の子の部分がBの方が多そう
- ② それを調べるためにはどうするか？
 ・全体からクッキーの面積を引いて残りを比べる
- ③ 何が分かれば解けそうか？
 ・円の半径
 ・正方形の生地の一辺
- ④ 円の面積の公式は？
 ・半径×半径×3.14

(計算)・・・(A)	(B)
正方形の一辺 12cm	
半径 6cm	
式 $12 \times 12 = 144$	$12 \times 12 = 144$
□正方形	□正方形
$6 \times 6 \times 3.14$	$3 \times 3 \times 3.14 \times 4$
$= 113.04$	$= 113.04$
□円	□4つの円
$144 - 113.04$	$144 - 113.04$
$= 30.96 \text{ cm}^2$	$= 30.96 \text{ cm}^2$
あまったところ	あまったところ

(振り返り)
 はじめは、Aの方がむだがなさそうに見えたけど、実際に計算をしてみると、同じ面積になった。
 最初の予想と違った。